

# 平成30年度

## 海上保安庁関係補正予算（第2次）配分概要

### 目 次

I. 平成30年度海上保安庁関係補正予算（第2次）配分方針	1
II. 平成30年度補正予算（第2次）配分総括表	1
III. 事業別概要	2
IV. 管区海上保安本部別配分額	3
V. 配分箇所のご具体事例	5

平成31年2月

## I. 平成30年度海上保安庁関係補正予算（第2次）配分方針

平成30年度船舶交通安全基盤整備事業補正予算（第2次）配分方針については、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」（平成30年12月14日閣議決定）の考え方に沿い、重要インフラの緊急対策のための事業に配分する。

また、豪雨等災害時における船舶交通の安全を確保するため、緊急的に実施する航行管制施設の機能向上のための事業に配分する。

### （1）重要インフラの緊急対策

平成30年度の台風や北海道胆振東部地震等最近の自然災害に鑑み、「重要インフラの緊急点検」を行い、航路標識の海水浸入防止対策、海域監視体制の強化、予備電源設備の整備、海上保安施設の緊急対策を実施する。

### （2）航路標識の老朽対策等

豪雨時に船舶の航行状況の把握が困難となった事例を踏まえ、航行船舶の監視機能の向上を図るため、より正確な航行状況の把握が可能な高性能レーダー等を早急に整備する。

## II. 平成30年度補正予算（第2次）配分総括表

[総事業費]

(単位：百万円)

区 分	「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」			「その他喫緊の課題への対応」			合計		
	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計	本省配分	一括配分	計
船舶交通安全基盤	1,547	0	1,547	759	0	759	2,306	0	2,306
直轄	1,547	0	1,547	759	0	759	2,306	0	2,306

### Ⅲ. 事業別概要

船舶交通安全基盤整備事業

117箇所

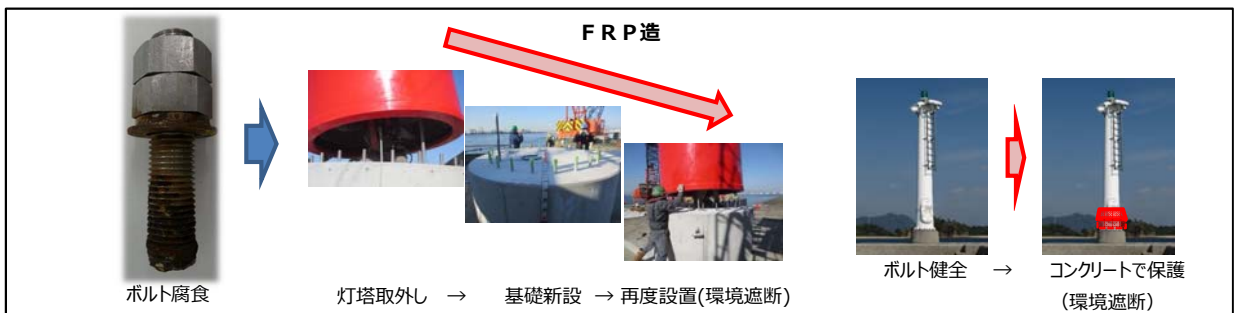
事業費 2,306百万円

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策

#### 重要インフラの緊急対策

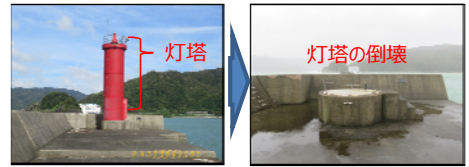
平成30年の台風20号、21号及び24号の暴風・波浪の影響により、神戸和田岬防波堤灯台の損壊や名瀬港西防波堤灯台の倒壊などの事故が発生したことを踏まえ、損壊・倒壊に至った原因を調査するとともに、全国の灯台について緊急点検を行い、海水等によるステンレス製ボルトの隙間腐食が確認された灯台について、海水等の影響を遮断する対策等を実施する。

<改修方法（対策）>



<倒壊事例>

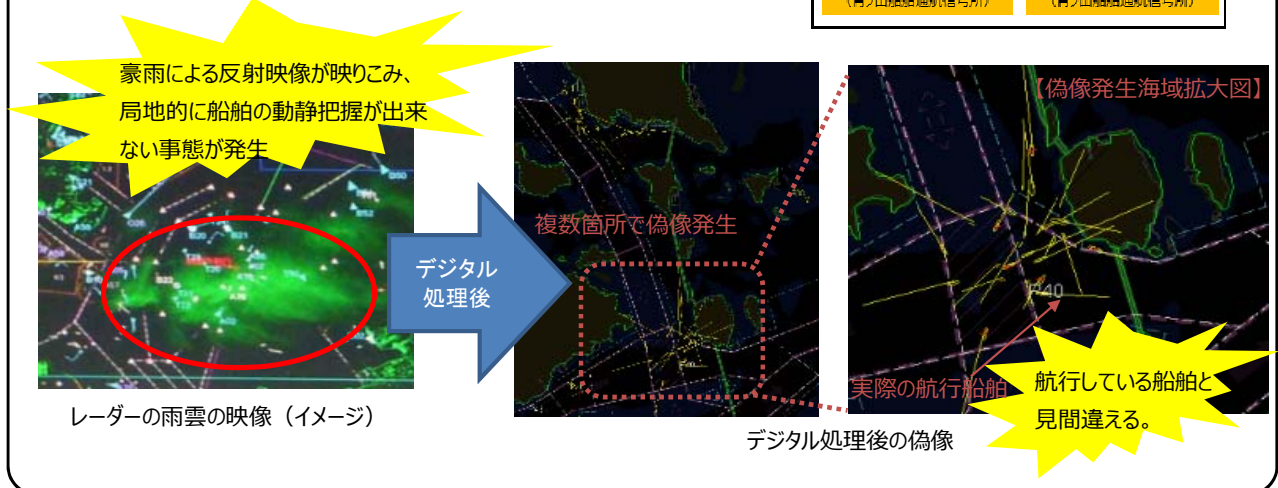
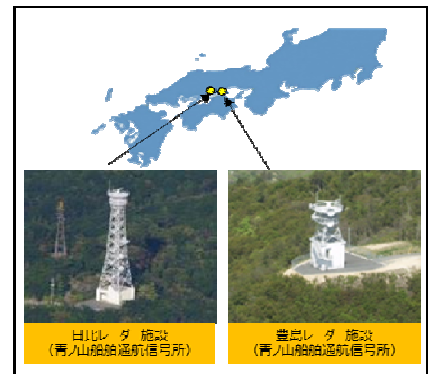
名瀬港西防波堤灯台（台風24号）



その他喫緊の課題への対応

#### 航路標識の老朽対策等

平成30年の度重なる台風等に伴う豪雨の影響により、青ノ山船舶通航信号所のレーダーに豪雨の反射映像が映りこみ、局地的に船舶の動静が把握出来ない事態が発生していることを踏まえ、豪雨の影響を低減可能な高性能レーダー装置に機器更新を実施する。



#### IV. 管区海上保安本部別配分額

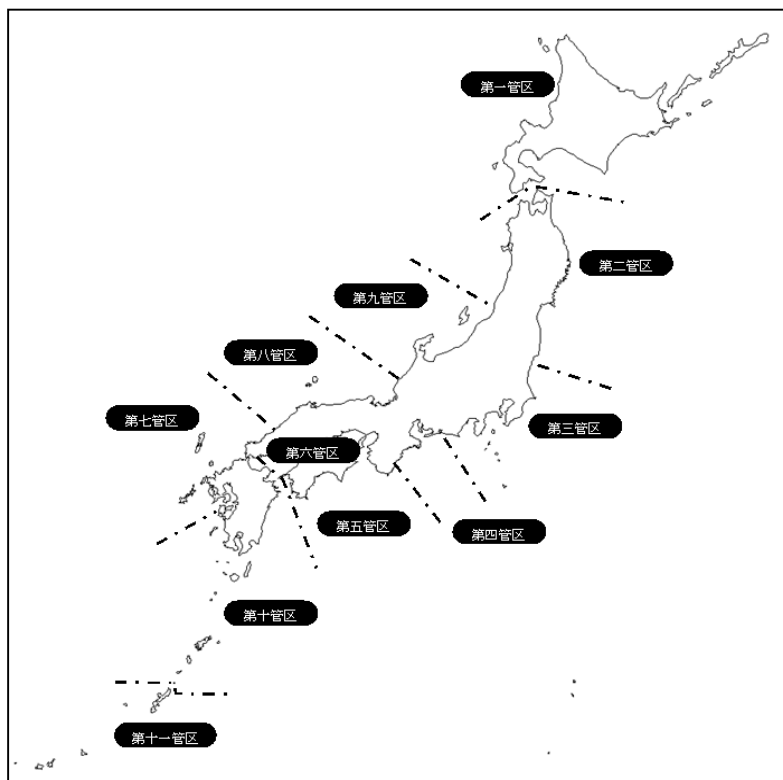
「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」

[直轄事業]

(単位：百万円)

区 分	事業箇所数 (箇所)	船舶交通安全基盤整備事業 (百万円)
第一管区海上保安本部	1	20
第二管区海上保安本部	7	102
第三管区海上保安本部	8	655
第四管区海上保安本部	17	173
第五管区海上保安本部	2	132
第六管区海上保安本部	33	171
第七管区海上保安本部	21	175
第八管区海上保安本部	0	0
第九管区海上保安本部	0	0
第十管区海上保安本部	10	54
第十一管区海上保安本部	13	65
合 計	112	1,547

※補助事業はなし



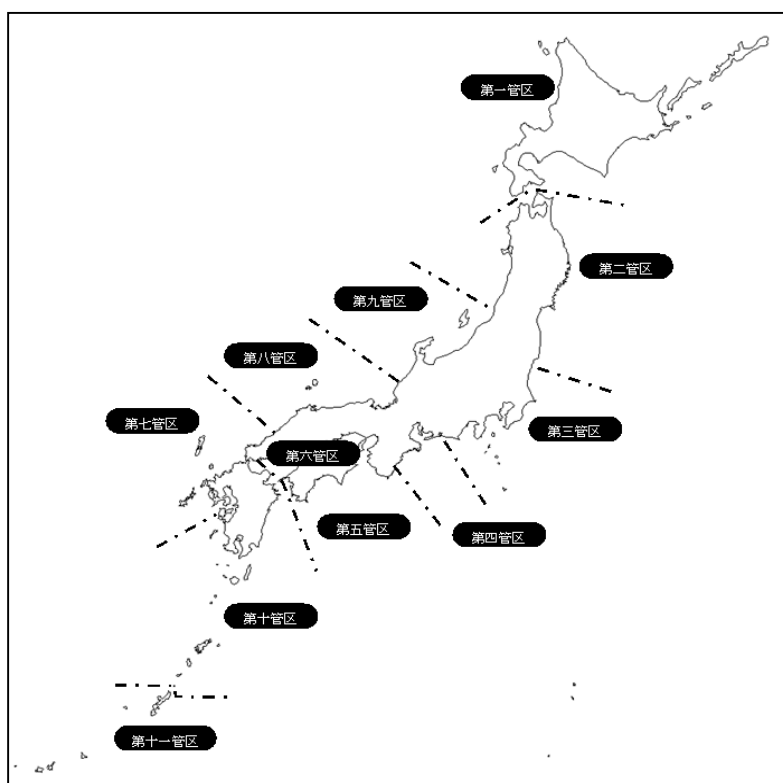
「その他喫緊の課題への対応」

[直轄事業]

(単位：百万円)

区 分	事業箇所数 (箇所)	船舶交通安全基盤整備事業 (百万円)
第一管区海上保安本部	0	0
第二管区海上保安本部	1	116
第三管区海上保安本部	0	0
第四管区海上保安本部	0	0
第五管区海上保安本部	0	0
第六管区海上保安本部	1	328
第七管区海上保安本部	2	208
第八管区海上保安本部	0	0
第九管区海上保安本部	1	107
第十管区海上保安本部	0	0
第十一管区海上保安本部	0	0
合 計	5	759

※補助事業はなし



V. 配分箇所の具体事例

「防災・減災、国土強靱化のための緊急対策」

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
茨城県 (鹿嶋市)	鹿嶋船舶交通安全 基盤整備事業	百万円 95	平成30年の台風等に伴う暴風・波浪の影響により、灯台の損壊・倒壊などの事故が発生したことを踏まえ、亀裂や基礎部の隙間からの海水浸入により、鉄筋等の腐食を誘発し、倒壊等の蓋然性が高い鹿嶋灯台について、海水浸入防止対策を実施する。

「その他喫緊の課題への対応」

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
岡山県 (玉野市)	備讃瀬戸南航路船舶交通安全基盤整備事業	百万円 328	平成30年の度重なる台風等に伴う豪雨の影響により、青ノ山船舶通航信号所のレーダーに豪雨の反射映像が映りこみ、局地的に船舶の動静が把握できない事態が発生していることを踏まえ、豪雨の影響を低減可能な高性能レーダー装置に機器更新を実施する。